

## まなっぷで安全マップを作ろう

3~6年

総合的な  
学習の時間

単元名

登下校安全マップづくり

作成者 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 特任教授 山路 進

## 単元について

本単元は、普段通り慣れている登下校路を交通安全や防犯といった視点で見直すことで、児童自ら危険に気づき、安全意識を高める時間としたい。また、気づいたことを他者へ伝える活動を通して、主体的に考え安全な生活をしようとする実践意欲を高めたいと考える。

## 単元の目標

- ・健康安全を意識した行動の仕方を身に付け、情報を集め状況に応じてよりよく判断を行い行動することができるようにする。
- ・必要な情報を自ら収集し、よりよく判断し行動する力を育む。
- ・学びの過程を通して、主体的に心身の健康を保持増進したり安全に行動したりしようとする態度を養う。

## 単元の指導計画（全7時間）

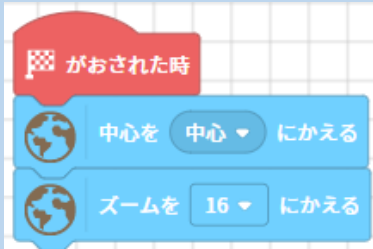
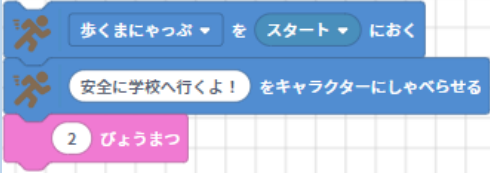


四次	三次	二次	一次	時	
⑦	⑥ 【本時】 ⑤	④ ③	②	①	
<p>★発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した登下校安全マップを発表し合う。</li> <li>※地域の方々や、下級生向けの発表の場として もよい。</li> <li>・学習をふり振り返り、今後の生活にどのように活かす とよいか話し合う。</li> </ul>	<p>★安全マップづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まなっぷを使って登下校安全マップを作成する。</li> <li>・登下校路で気をつけたいことなどを、撮影した写真 や言葉を使ってマップにまとめる。</li> </ul>	<p>★フィールドワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画をもとにフィールドワークを行う。</li> <li>・気づいたことを白地図などにメモし、写真撮影も 行う。</li> </ul>	<p>★フィールドワークの計画をたてよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の方向が近い児童同士グループを組み、役 割分担を行い、まなっぷで印刷した白地図を使っ てフィールドワークの計画をたてる。</li> </ul>	<p>★安全な登下校のために気をつけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールや交通マナー、登下校中の危険につい て学び、（交通安全教室・防犯教室など）安全な登 下校をするために気をつけることを話し合う。</li> </ul>	学習内容

## 本時の学習活動

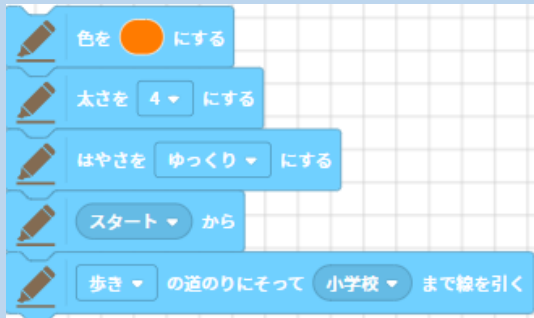
## 本時の目標

- ・自宅から学校までの登下校路の安全について考えることができる。

## 本時の流れ

区分	学習活動と内容とブロック例 (予想される児童の反応)	指導上の留意点・支援と実行例 (教師の活動)
導入 五分	1 本時のめあてを知る ・前時の地図や撮影した写真などを見ながら、フィールドワークをふり返る。	
	<b>まなっぷで登下校安全マップを作ろう</b>	
展開 三五分	2 作りたい安全マップについて話し合う ・教師の例を見て、どのようなマップを作りたいかを話し合う。  3 登下校安全マップを作成する ・グループごとにまなっぷを使って地図を作成する。 ・学校や、前時に回ったポイントを地点登録する。 ・中心となる場所を地点登録する。 ・登録した場所が見えるように中心とズームを設定する。	・登下校安全マップの例を提示する。
	 <p>・スタート地点を決め、まなっぷを置いて喋らせる (登校班の集合場所などをスタート地点にするとよい)</p> 	 <p>喋らせた後は、制御「〇秒待つ」を使うと見やすくなるね。</p> 

・スタート地点から小学校まで登下校路に線を引く  
(小学校からスタートしてもよい)

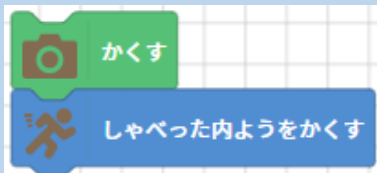


・吹き出しを隠してから、1つ目のポイントまで歩かせる。

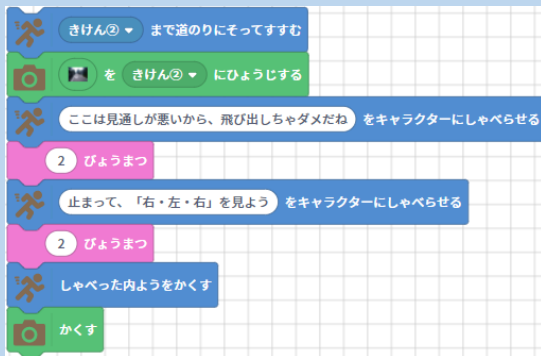


・ポイントに写真を表示し、説明を喋らせる

・写真やテキストを隠す



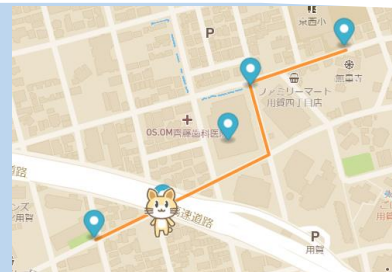
・ポイント2つ目以降もまにやっぷを移動させてから同じように写真やテキストを表示する



登下校路と違う道のりに線が引かれたときは、登下校路の曲がり角ごとに地点を登録し、順番にブロックを組むといいよ。

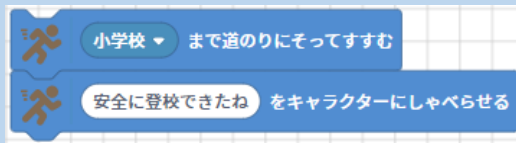


歩く速さを調整しよう。



次の場所に移動するとき、写真やテキストが残っていると見にくいよね。

・最後に学校まで移動させる



・発表の練習をする。  
・組んだプログラムや動きを確認し、修正方法を話し合う。



ま  
と  
め  
五  
分

4 次時の見通しをもつ  
・発表に向けて次の時間の活動についてグループで話し合う。

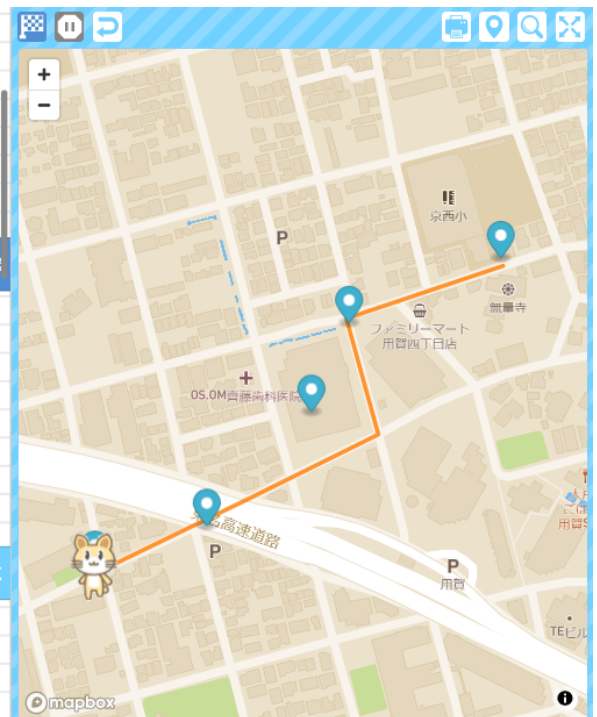
・工夫しているグループの作品をお手本として見せてもよい。

プログラム例・実行例

プログラム例①



実行例①



- ・中心・ズーム
- ・まにやつぶを置く
- ・喋らせる
- ・線を引く

プログラム例②

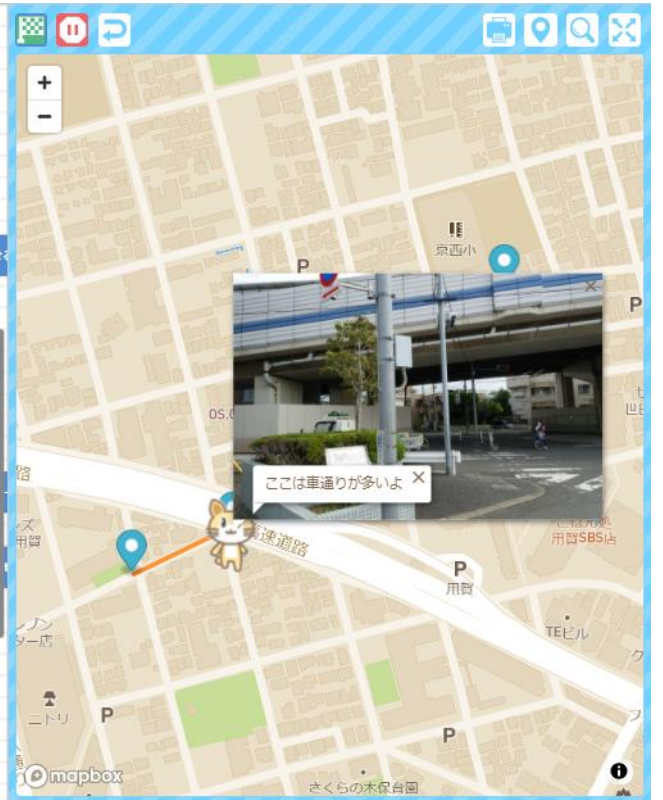
実行例②

1 ポイント目

- ・歩く
- ・写真を表示
- ・コメントを表示
- ・写真とコメントを隠す

2 ポイント目以降

学校に到着



### 準備物

- 教師： 端末、まなっぷ(事前にプログラムを組んだもの)  
 児童： 端末、前時記録した白地図